

平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日		平成17年4月15日		記入者	
部 名		生涯学習部	課 名	スポーツ課	課長名
事務事業名		総合体育館自主事業			
予算上の事務事業名		総合体育館自主事業費			
1 総合計画における位置づけ		施策コード		15210	
基本目標		「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして			
政 策 名		第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります			
基本施策名		第2節 生涯スポーツ・レクリエーションの振興			事業開始年度
施 策 名		第1施策 スポーツ・レクリエーション活動の促進			昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
スポーツ振興法					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	スポーツ振興計画～地域スポーツ活性化プラン～		市民自らがスポーツへ取り組むことを基本として、地域におけるスポーツ環境の整備、青少年期のスポーツ環境の整備などを基本目標に各種施策を推進する。		
計画年次	15	年度～	25	年度	
4 事業形態の区分					
研修・講座 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
広く市民の健康の保持増進、体力維持及び運動の技術向上を図り、あわせて生涯スポーツとしての運動の生活化を目的として自主事業を開催する。			市民(受講者)		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
実施については、相模原市体育協会加盟の各種目協会及び各種インストラクター等に講師を依頼した。					
実施教室数 12教室(定員 560名)					
延べ実施回数 89回					
延べ出席者数 4,186名					
講師合計人数 31名					
報償費 1,688,300円(予算額1,689,000円)					
消耗品 40,030円(予算額44,000円)					
6 関連・類似事業や他市の状況					
近隣都市7市の自主事業開催状況は、ほとんどの市で開催(各スポーツ施設ごとに開催)されている。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	2,406	2,061	2,467	2,558	2,558
一般財源	2,406	2,061	2,467	2,558	2,558
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	8,390	8,010	8,070	8,070	8,070
事業コスト合計(a)	10,796	10,071	10,537	10,628	10,628
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	自主事業(教室)			対象名称(単位)	のべ教室実施回数(回)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	10,796	10,071	10,537	10,628	10,628
対象数	99	99	89	89	89
単位あたり経費(円)	109,051	101,727	118,393	119,416	119,416
前年度比		0.93	1.16	1.01	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	受講者数（人）		指標式と指標の説明	実績：講座の参加者数の合計 目標：講座の年間定員総数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	764.0	738.0	793.0			
目標	600.0	600.0	560.0	560.0	560.0	
目標達成度	1.27	1.23	1.42			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	講座の出席率（％）		指標式と指標の説明	延受講者数/講座の延定員数*100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）	
実績	93.7	92.5	99.6			
目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
目標達成度	104.1	102.8	110.7			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[]：良好な状態を維持する事業				
	[]：概ね良好な状況である事業				
	[]：見直しを行う必要がある事業				
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		指定管理者制度への円滑な移行を図る。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
受講者ニーズをより正確に把握し、効果的なプログラムを提供を行う。			指定管理者制度導入を踏まえ、目的を達成するため、事業計画や成果の検証などについて、指定管理者と十分な意思疎通を図ることが重要となる。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		指定管理者制度の導入。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				